令和3年6月定例会 総務委員会（事前）

令和3年6月16日（水）

〔委員会の概要 経営戦略部・監察局関係〕

高井委員長

休憩前に引き続き、委員会を開会いたします。（13時24分）

これより、経営戦略部・監察局関係の調査を行います。

この際、経営戦略部・監察局関係の6月定例会提出予定議案等について、理事者側から説明を願うとともに、報告事項があればこれを受けることにいたします。

【提出予定議案等】（提出予定議案，補正予算案の概要，説明資料）

- 議案第2号 令和3年度徳島県用度事業特別会計補正予算（第1号）
- 議案第3号 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について
- 議案第4号 徳島県税条例等の一部改正について
- 議案第5号 過疎地域内における県税の課税免除に関する条例の一部改正について
- 議案第6号 地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化を図るための県税の課税免除に関する条例の一部改正について
- 報告第2号 令和2年度徳島県繰越明許費繰越計算書について
- 報告第8号 損害賠償（交通事故）の額の決定及び和解に係る専決処分等の報告について

【報告事項】

なし

仁井谷経営戦略部長

私からまず、提出予定議案全体について御説明いたします。お手元に御配付の令和3年6月徳島県議会定例会提出予定議案を御覧ください。

今回提出いたします案件は、予算案2件、条例案10件、契約議案3件その他の議案3件の計18件でございます。このほか、報告事項が9件ございます。

また、ここに記載しておりませんが、現時点における追加提出予定議案といたしましては、教育委員会委員，人事委員会委員，公安委員会委員に係る人事案件がございまして、これらにつきましては閉会日に提出を予定してございます。

それでは、議案の概要につきまして、順次、御説明いたします。

まず、第1号及び第2号は補正予算案として、令和3年度6月補正予算案の概要を御覧ください。

今回の補正予算案につきましては、本県の感染状況に応じた感染防止と経済・雇用対策の両立に加え、重要課題に切れ目なく対応するためのものとして編成いたしております。

大きく2本の柱でございまして、まず一つ目は、新型コロナ対策といたしまして、感染状況に応じたとくしま応援割の実施や宿泊事業者が行う感染防止対策への支援など県内観光需要の継続的な喚起と感染防止の取組強化を図るほか、危機管理調整費の増額により、

あらゆる危機事象に対する即応態勢の強化に取り組みます。

二つ目の柱、重要課題への対応といたしましては、青少年センターの移転や徳島木のおもちゃ美術館の開館など、新たな交流拠点を整備するとともに、デジタル社会に即した地域活動の支援モデル構築や成年年齢引下げを見据えた主権者教育の推進、鳥インフルエンザ対策、介護人材の確保などに取り組むことといたしております。

また、補正予算の規模といたしましては、2、一般会計補正予算規模にお示ししておりますとおりの補正額としては40億1,389万1,000円となっております。

2ページは歳入歳出の内訳を記載しております。

上段の表、歳入におきましては、使用料及び手数料、国庫支出金、繰入金、繰越金、諸収入の各項目について増額補正をいたしております。

また、下の表、歳出におきましては、総務費、民生費、農林水産業費、商工費及び教育費におきまして所要の経費を計上いたしております。

3ページは、歳出の性質別の内訳を記載しております。

4ページを御覧ください。

特別会計の補正でございます。

今回補正を予定しておりますのは、表の一番上、用度事業特別会計でございまして、5億5,524万5,000円の増額を計上いたしております。内容といたしましては、令和2年度2月補正先議分で計上いたしました、教育委員会のデジタル化対応産業教育設備整備事業につきまして、物品調達業務を管財課に集約して行うことといたしましたので、支出を特別会計を通じて行うということで所要額を計上いたしております。

予算議案の概要は、以上でございます。

次に、条例案などその他の議案の概要について、御説明いたします。

まず、第3号の職員特殊勤務手当に関する条例の一部改正につきましては、国家公務員について防疫等作業手当の加算措置がされたことに鑑み、本県の職員についても同様の措置を講ずる改正を行うものであります。

第4号の徳島県税条例の一部改正につきましては、地方税法の一部が改正され、特定卸供給事業に係る法人の事業税の課税区分が定められたことに伴い、所要の改正を行うものであります。

第5号の過疎地域内における県税の課税免除に関する条例の一部改正につきましては、新たな過疎法の施行に伴い、課税免除の要件について所要の整備を行うものであります。

第6号の地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化を図るための県税の課税免除に関する条例の一部改正につきましては、地域未来投資促進法に関する省令の一部改正に伴い、課税免除の期限を2年間延長するものであります。

第7号の条例改正につきましては、徳島県青少年センターの移転整備に伴い、休館日を定めるものであります。

第8号の条例改正につきましては、薬機法の一部改正に伴い、地域連携薬局及び専門医療機関連携薬局の認定など、事務に係る手数料を定めるものであります。

第9号と第12号の条例改正につきましては、新たな過疎法の施行に伴い、引用法律の名称変更の整備を行うものであります。

第10号及び第11号の条例改正につきましては、省令又は法律の一部改正に伴い、引用条

項ずれの整理を行うものであります。

第13号の契約につきましては、契約金額が7億1,325万9,800円、契約の相手方は徳島都市開発株式会社となっております。

第14号及び第15号の変更契約につきましては、工事内容の見直しに伴い、契約金額について増額を行うものであります。

第16号の指定管理者の指定であり、徳島県立木のおもちゃ美術館について、株式会社あわを指定するものであります。

第17号及び第18号の県道の認定、廃止につきましては、現在、徳島空港から松茂町までとなっている徳島空港線を鳴門市大麻町の県道徳島鳴門線まで延伸整備するため、認定、廃止を行うものであります。

続きまして、報告案件であります。

報告第1号から報告第7号までは繰越計算書であり、各会計における予算の令和2年度から令和3年度への繰越額を報告するものであります。

報告第8号及び報告第9号は専決処分の報告であり、交通事故と道路事故の損害賠償額の決定及び和解に係るものでございます。

以上が、提出予定案件の全体でございます。

次に、経営戦略部・監察局・出納局関係の提出予定案件につきまして、御説明いたします。

先ほど申し上げました議案のうち、議案第2号の特別会計補正予算及び議案第3号から第6号までの条例改正、また報告第2号、第8号が関係部分でございます。

総務委員会説明資料に基づきまして、御説明させていただきます。

1 ページが特別会計補正予算でございます。

今回補正をいたしますのは、管財課の用度事業特別会計でございます。補正額は先ほど御説明いたしましたとおり5億5,524万5,000円でございます。財源内訳は右の欄に記載のとおりでございます。

2 ページが、課別主要事項説明となっております。摘要欄に記載のとおり、用品購入に要する経費の補正でございます。

3 ページを御覧ください。その他の議案等でございます。

まず、3 ページから7 ページは条例案4件でございます。

それぞれの内容につきましては、先ほど御説明申し上げたとおりでございます。

次に、8 ページをお開きください。

専決処分の報告についてでございます。

交通事故に係る損害賠償の額の決定及び和解でございます。3件でございます。

1 件目が、三好市在住の方と賠償金3万3,000円で和解したものでございます。

事故の内容は、令和2年12月23日に県車両が道路上で方向転換しようとしてバックした際、相手所有のブロック塀に接触したものでございます。

2 件目が、美馬市在住の方と賠償金29万4,327円で和解したものでございます。

その内容は、令和2年12月24日に県車両が駐車場でバックで方向転換した際、後方に駐車中の相手車両に接触したものでございます。

3 件目が、兵庫県神戸市所在の法人と賠償金8万8,700円で和解したものでございま

す。

その内容は、令和3年1月19日に同乗者が県車両から降りようと左後部のドアを開けた際、突風にあおられ、隣に駐車中の相手車両にドアが接触したものでございます。

県有車両使用時における安全運転の徹底については、事故発生所属において研修を実施するとともに、県職員のポータルサイトを通じて、改めて全体に対して注意喚起を行ったところであります。今後とも、職員の交通安全意識の高揚と交通法規の遵守を徹底し、交通事故防止に向け、しっかりと取り組んでまいります。

続きまして、9ページを御覧ください。

令和2年度繰越明許費繰越計算書についてでございます。

2月定例会で御承認いただきました繰越明許費につきましては、繰越しの額が決定したものでございます。秘書課から議会事務局まで6所属であり、合計欄の左から3列目、2億5,908万4,300円でございます。引き続き、事業の早期執行に努めてまいります。

提出予定案件の説明は、以上でございます。

なお、報告事項はございません。

御審議のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

高井委員長

以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

それでは、質疑をどうぞ。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、経営戦略部・監察局関係の調査を終わります。

次に、当委員会の県外視察についてでございますが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、今年度についても、中止することといたしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

これをもって、総務委員会を閉会いたします。（13時36分）